消防団員と一緒に、放水訓練！

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。

大豊町では、1月27日（木）に、嶺北消防署、大豊町消防団と教育委員会が、旧立川番所書院、豊楽寺薬師堂、定福寺の3カ所を回り、放水や防火設備の点検などを行いました。また、豊楽寺や定福寺では、消防署員と消防団員から住職たちへ、消火栓からホースを接続し放水するまでの指導・訓練も行いました。

町の貴重な財産である文化財を火災などの災害から守るには、関係者だけではなく地域住民との連携・協力が必要不可欠です。文化財愛護、防災の意識高揚に努めましょう。

▲放水銃などによる放水（豊楽寺・立川番所）

「文化防火デー」とは？

昭和24年1月26日に法隆寺金堂が炎上し、仏教絵画の代表作ともいえる壁画が焼損したことから、文化財防災推進のため、1月26日を「文化財防火デー」と定めました。毎年、全国で文化財所有者などの協力もと、消火訓練などの文化財防火運動を行っています。

町内の消火栓の近くには、放水用ホース・筒先が格納されています。

器具の使い方・放水指導
（定福寺・豊楽寺）▶

町内の保育所に鬼現る！

2月3日（木）、町内の保育所で節分の豆まきが行われました。子どもたちは、現れた鬼に捕まらないよう逃げ回りながら、「鬼はそと！福はうち！」と大きな声で豆まきをしました。

大田口保育所の豆まき

マーカスの About Australia

Hello everyone! It's Marcus the CIR.
こんにちは！　国際交流員のマーカスです。

今回は、オーストラリアの変わった文化のひとつ、「裸足の習慣」についてお話しします。

オーストラリアでは、裸足でスーパーに行っても誰も変だと思いません。海や公園は当たり前、カフェ、レストラン、映画館やデパート、どこへ行くにも靴を履きたくない人がいるのです。

「汚くない？なぜそうするの？」と思うかもしれませんが、理由は簡単。裸足の「自由感」「便利さ」もしくは、単純に「足の感覚を楽しみたい」と思う人が多く、見た目は全く気にしないのです。

特殊能力ではないけれど、ずっと裸足で過ごしてきた人の足は、簡単にけがをしないほど固くなっています。40℃の日差しに照らされて、熱したフライパンみたいなアスファルトの上も難なく歩けます。

チャンスがあったら皆さんも試してみてはいかがでしょうか。裸足ならではの新しい発見ができるかもしれません☺僕は以前、スーパーで片方だけのスリッパを履いている人を見て「片方なくしたの？」と声を掛けると、「いや、片方見つけたぜ！」と返事がきました。

スポーツ安全保険®
文化活動も加入出来ます
対象となる事故　団体活動中の事故／往復中の事故
保険期間　令和4年4月1日の午前0時から令和5年3月31日午後12時まで
4名以上の団体・グループでご加入ください。
公益財団法人 スポーツ安全協会 高知県支部
TEL 088-820-1755　電話受付時間　午前8時30分～午後5時15分（土、日、祝日を除く。）
保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。
ご加入はインターネットからのお手続きが便利です。
スマートフォンからもお手続きできます。
スポーツ安全保険　検索